

## ときがわ町 弓立山男鹿岩

令和6年4月25日 RCT/K

暫く天候不順が続き、雨後でも乾いていて登れる岩場がないか思いをめぐらしたところ、以前リハビリ登山で見かけた弓立山の男鹿岩を思いつき行ってみた。

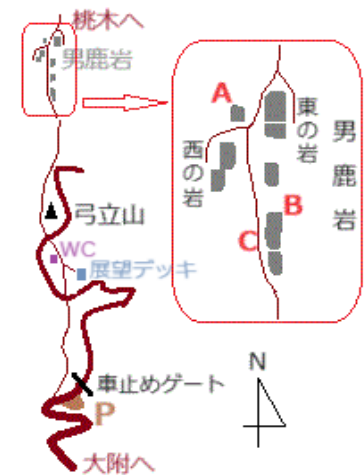
男鹿岩は大きな二つの岩と周辺の数個のボルダーにより構成されており、ネットでよく見かけるのは東の岩である。岩の上や壁面には錆びたリングボルトがあり、昔一時期開拓が行われたようだが脆いためか放棄されたと思われる。

高さは、東の岩 8m、西の岩 8m、ボルダーは 2m 程度というところである。岩質は石英質で一見しっかりしているように見えるが、実際は長瀨の岩に近い石英片岩のような感じで良好とは言えず、層のようになって割れることがあり、昔トライされたラインを除いて浮石も多い。東西を比較すると、どちらかと言えば西の岩の方が浮石も少なく硬くしっかりしているが、何れにせよ、まだまだホールド欠損の可能性があるので、デリケートなクライミングを強いられる。リードルートは安全のため 1 本目プリクリップでスタートする。

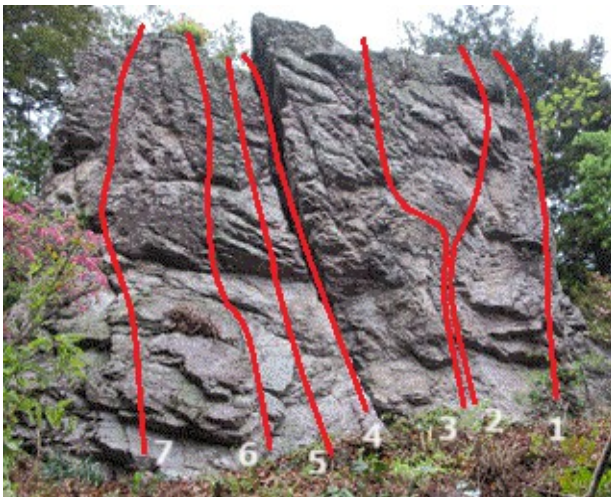
この岩場は、小さくルート数が少ない上に脆い部分も多いので、お勧めできるというエリアではないが、強いて言えば、雨後の乾きが良く、明るい岩場なのが売りである。

アクセスは、埼玉県ときがわ町の弓立山を目指して行くが、北側の桃木登山口からよりも南側の大附からの方が近いので、埼玉梨花 CC への途中から右に入り車止め手前の駐車スペースを利用する。

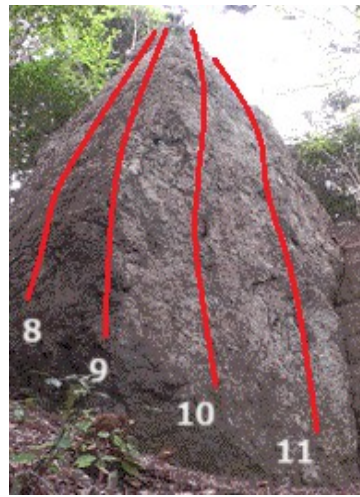
アプローチは、駐車スペースから登山道を 15 分程登り、弓立山山頂を越えて北側に 5 分程下ると男鹿岩の上に出る。山頂手前にトイレがある。



### 《ルート及び課題紹介》



東の岩



西の岩左フェイス



西の岩右フェイス

### ●東の岩

クラックを挟んで左右のフェイスに分かれる。昔トライされなかった部分は浮石が多く事前またはトライ中に落とすが完全ではないので注意が必要。終了点は岩上にアイナットがあって事前にセッティングするが、景観上の配慮から目立たない色でペイントしてある。

1. 妖魔調伏(5.10a)B3 (ようまちょうぶく) 右のカンテ。出だしのハング越えが核心で上は易しい。
2. 墓目の法(5.10a/b)B3 (ひきめのほう) 昔のエイドルートのフリー化ライン。錆びたリングボルト

はそのまま残してあるが落としたたほうが見栄えが良いかも。見た目より登りにくい。1本目の左にあった良いカチホールドが欠けたので、少し左から上がるようになった。

**3. 無名(5.10)TR** 右のフェイスの左ライン。脆そうなのでTRで試登したら、下のハング上にあった大きめの良いカチホールドが欠けてハング越えで行けなくなってしまった。一応取り敢えず2ルート下部を登り左に入るラインとし、ボルトを埋めずTRのラインとした。

**4. 大蛇♂(5.5)** オフウィズス・クラック。リードでは大きめのカムチョックが欲しい。

**5. 赤桃(5.8)B2** 左のフェイスの右ライン。1本目が高いので、心配なら右のクラックにカムチョックでとる。ハング越えが核心。クラックの縁は使用可。

**6. 無名(5.8)TR** 中央のライン。ハングを越えてフェイスを直上。

**7. 無名(5.7)TR** 左のライン。左カンテ右のフェイス。

## ●西の岩

東の岩に比べこちらの方が岩自体はしっかりしているが、浮いている岩もあって部分的に大きな浮石を落とした。岩の上に終了点用のアイナットがあるので、事前にセッティングする。

**8. スラブフェイス(5.4)TR** フェイスを下から登る。

**9. 左カンテ(5.5)** 出だしが少し被り気味だがガバナなので問題なし。

**10. 桃の弓(5.10a/b)B3** ピナクル状フェイスの左ライン。適度に良いホールドあり。

**11. 葦の矢(5.10a)B3** ピナクル状フェイスの右ライン。こちらも適度に良いホールドがある。3本目付近は浮いた部分が多く少し右にボルトを打ったが特に問題なし。

**12. 無名(5.10-)TR** 右フェイスの前傾フェイス。脆そうなのでTRの方が良い。SDスタートでも遊べる。

**13. 無名(5.4)TR** 右フェイスの中央のクラック。

## ●ボルダー

特に面白いという程のボルダーではないが、登山道の左右に数個ちょっと遊べるボルダーがあるので紹介する。高さがなく下地が良いので厚手のクラッシュパッドは必要ないが、岩が少々脆く欠けることがあるので、小さめのマットがあると安心できる。

### ○東の岩西面(トポ左上)

登山道側のフェイス。難しくはないが岩の摂理の関係で登りにくいところがある。

### ○A岩(トポ右上)

西の岩取付きへの下り口右側にある小さな岩。

赤ライン(課題名:ピーモンタイト)は、外傾したスタートホールドで引き付け岩上にデッド。

### ○B岩(トポ左下)

摂理が横に入っている緑っぽい岩。

赤ライン(課題名:グリーンシスト)は、左手アンダー気味のホールド、右手はガバで身体を上げ上のカチホールドにデッド。

### ○C岩(トポ右下)

山頂側の登山道横にある横クラックの入った岩。見た目より脆くトライ中に手足ともに何度もホールドが欠けた。

